

Project Name

子ども観光大使IN倉敷

郷土に愛着を持ち、誇りに思う子どもを育てるために

「子ども観光大使」とは、次世代を担う子どもたちの郷土を愛する心を育てることを目的として、静岡県や栃木県で始まった活動です。岡山県では、昨年から活動が始まりました。まず、倉敷市下津井で親子で参加する「ところてん作り」を開催し、この後、「瀬戸大橋見学」「藍染体験」「たこ塩焼きそば作り」と続けました。1年目は、児島地区で5回、2年目の今年は、7月現在で、「茶屋町鬼まつり参加」「大原美術館散策」「ここはい下津井節参加」「玉島醤油絞り体験」と4会場開催し、今後も倉敷市各地で開催予定です。

また、「子ども観光ガイド」という観光地での案内を視野に入れたプログラムも現在計画中です。2019年にラグビーワールドカップ、2020年にはオリンピックがあり、外国の方もたくさん日本に訪れます。昨年は、児島地区。今年は、エリアを広げて倉敷市。来年は、備中地区。再来年は岡山県全県下。そして、日本とワールドカップ、オリンピックに向けて5か年計画で準備しています。

郷土の魅力を知り、発信することが、郷土に愛着を持ち、誇りに思うことのきっかけになると思います。そして活動を通して親子の絆が深まり、地域の方々が元気になり、観光客の増加につながることを期待しています。また、それが地域の課題を解決する一つの方法になると考えています。



左から順に：「瀬戸大橋」の構造や歴史の学習／「児島 藍染体験」で世界で一つだけの柄／茶屋町で「鬼太鼓」体験／子ども観光大使チラシ

子ども観光大使 岡山版 毎年、開催エリアを拡大予定

1 1年目の倉敷市の子ども観光大使2014 全5会場 合計103名を認定 参加者はのべ249名

<p>2014年 倉敷市児島子ども観光大使</p> <ul style="list-style-type: none"> ①全県で開催 約100名 子ども観光大使誕生 ②倉敷観光大使チラシ・写真制作 ③活動プログラムカード・検定実施 ④新聞紙、倉敷市長の祝福メッセージを頂く ⑤検定合格者が実行委員の職務に就任 	<p>2015年 倉敷市子ども観光大使</p> <p>2015 子ども観光大使検定</p> <p>倉敷市観光大使実行委員会</p>	<p>2016年 備中子ども観光大使</p> <p>美作エリア</p> <p>岡山県備中エリアで5会場で開催予定</p>	<p>2017年 岡山子ども観光大使</p> <p>備中・美作・備前各地域で開催予定</p> <p>2017年以降、毎年開催地区を拡大</p>
--	---	--	---

2019年までに
①岡山県全県下で開催予定
②岡山県で全国大会開催

2020年
岡山の良さを
外国人にも発信！

Group Name

倉敷子ども観光大使実行委員会

「TOSS」という全国1万名の教師で作られている団体があり、その中の倉敷市、岡山市、総社市のTOSS教師が中心となって企画しています。地域の方、議員さんにも協力してもらいながら活動しています。月に1回、定例会を早島公民館で行っています。

【お問合せ】E-mail…nishimura.junichi@toss2.com 担当者名…西村純一

Web…http://kodomokannkoutaisi-okayama.jimdo.com/



事業概要

事業の目的

地域の魅力を体験を通じて学び、発信することで、地域を好きになり、誇りに思う倉敷市の子ども達を育成する。

活動内容

2014年5会場 参加者のべ249名 子ども観光大使103名認定
2015年(7月現在)4会場 参加者のべ139名

団体からのメッセージ

「子ども達・地域のために、できることをしたい!」と思われている方、大歓迎です。一緒にボランティアしませんか。

私たちが大切にしていること…子どもの成長と人との出会いを大切に活動しています。

この活動を通じて得たもの…素敵な方々との出会いを多く得ることができたことと、私たち自身も地域についてよく知る事ができました。

